イランへの軍事攻撃反対
イスラム7カ国声明
外相会議

【ニューデリー＝豊田栄光】パキスタン、サウジアラビア、ヨルダン、エジプト、マレーシア、インドネシア、トルコのイスラム七カ国による外相会議が二十五日、パキスタンの首都イスラマバードで開催され、イランへの軍事攻撃反対を表明する共同声明を発表しました。

会議はイスラム諸国会議機構（OIC）事務局長を兼ねました。

米国がペルシャ湾に空母を増派するなど、イランへの軍事的圧力を強める中、声明は「すべての問題は外交を通じて解決されなければならず、武力の行使に訴えてはならない」と強調。「状況の悪化、対決ではなく、それを縮小させることにそが（ペルシャ）湾岸地域では必要である。すべての国はこの目標に向けて行動しなければならない」と訴えました。

イラク問題で声明は、「統一、主権、イラクの領土の維持が保証されなければならず、イラク政府はその国内において、国民和解を達成するあらゆる努力を払わなければならない」と述べました。レバノン、パレスチナ問題の平和的解決の重要性も強調しました。

会議後に記者会見したパキスタンのカスリ外相は、「私たちは、有効性のある新しいことを進めていく必要がある」と述べました。

パキスタンのムシャラフ大統領は最近、中東と東南アジアのイスラム諸国を歴訪し、中東和平などについて話し合っています。今回の外相会議開催についてパキスタン政府は、「平和のイニシアチブを行動に移し、考えることが目的」と強調しているとも付けました。

会談　米国のキリスト者の代表団が二十四日、イラン・米国間の平和を模索するためにイランを訪問、アハマディネジャド大統領（右側）と会談しました。（ロイター）

検討画停止なら 直接対話の用意
米国務長官

【ワシントン＝豊田栄光】米国のライス国務長官は二十五日、イランが核開発計画を停止すれば「直接対話の用意がある」と述べました。

ライス長官は、イランへのこれまでの制裁措置についても、先日のロシア外相やドイツ外相との会議で「国連安保理で議論していくことにかなる合意」と述べました。

イランとの対話開始の条件についてライス氏は、（核開発問題の）「ボタンを押せるのはイランだけ」と述べ、「それによって、イランの考えが分かるであろう」、われわれは準備ができている」と強調しました。

ライス長官は、イランがウラン濃縮と再処理活動を停止するなら、いつでもイランの外相または代表と会う用意はある」と述べました。

OXテレビとABCテレビに出演、「もしイランがウラン濃縮と再処理活動を停止するなら、いつでもロシア外相やドイツ外相との会議で「国連安保理で議論していくことにかなる合意」と述べました。

ライス長官は、イランへのこれまでの制裁措置についても、先日のロシア外相やドイツ外相との会議で「国連安保理で議論していくことにかなる合意」と述べました。

ライス長官は、イランへの軍事的圧力を強める中、声明は「すべての問題は外交を通じて解決されなければならず、武力の行使に訴えてはならない」と強調。「状況の悪化、対決ではなく、それを縮小させることにそが（ペルシャ）湾岸地域では必要である。すべての国はこの目標に向けて行動しなければならない」と訴えました。

イラク問題で声明は、「統一、主権、イラクの領土の維持が保証されなければならず、イラク政府はその国内において、国民和解を達成するあらゆる努力を払わなければならない」と述べました。レバノン、パレスチナ問題の平和的解決の重要性も強調しました。

会議後に記者会見したパキスタンのカスリ外相は、「私たちは、有効性のある新しいことを進めていく必要がある」と述べました。

パキスタンのムシャラフ大統領は最近、中東と東南アジアのイスラム諸国を歴訪し、中東和平などについて話し合っています。今回の外相会議開催についてパキスタン政府は、「平和のイニシアチブを行動に移し、考えることが目的」と強調しているとも付けました。

「米新政策の失敗示す」
アラブのメディア・評論家論評

【カイロ＝松本貴志】英国、デンマーク、リトアニアがイラクからの部隊撤収計画を発表したことについて、アラブ諸国の評論家やメディアは、米国の同盟国がブッシュ米政権のイラク政策の失敗を感じ始め、撤退傾向をさらに強めるとの見方を示しています。

ブレア英首相は二十一日、数百人規模で千五百人の部隊を撤収させ、夏の終わりまでに駐イラク英軍を五十人未満に減らすとの決定を発表しました。アラブ首長国連邦紙アルハリージは二十五日付は「ブッシュ政権の新イラク政策の失敗を象徴すると指摘。「米国の撤退は、ブッシュ政権のイラク政策がイラクの現状を変えず、むしろイラクを混乱に引きずりこむものだと認識し始めている」としています。

ヨルダン紙アッドストール」二十四日付は「英軍のイラクからの撤退は、イラク人の利益となるだけでなく、他の米国の同盟国の撤退を加速させる重要な一歩だ」と主張。カタール紙アルラヤ二十二日付は「米政権高官は、英国の一部部隊撤収決定の影響を過小評価している」と述べています。

イラクの政治評論家のアラー・ハダド氏（ロ）は、本紙の電話インタビューに答え、「英軍を含む諸国の連合軍は全体としてみた場合、イラクでのような機能的目的も達成することができず、むしろ治安情勢を悪化させた」と批判しました。また今回の部隊撤収の動きの背景について、「欧州や英国国内での撤退要求の高まりがある。同時に、ブッシュ政権が新イラク政策で米軍増派を決定してイランとの対決姿勢を強めたことで、英国など同盟国が新たな戦争に巻き込まれる危険を回避しようとしている」と語りました。

イラク南部バスラで警戒する英軍の装甲輸送車の車列（ロイター）

イラク英軍一部撤退

首都西方死者56人に
イラク爆弾テロ

【ファルージャ（イラク）＝AFP時事】イラクの首都バグダッド西方のハバニヤにあるイスラム教スンニ派のモスク（礼拝所）近くで二十四日起きた爆弾テロの死者は五十六人に達しました。警察関係者が二十五日、明らかにしました。負傷者は百三人にのぼります。

資金凍結解除へ詰め
対北朝鮮 米高官がマカオ入り

【香港＝時事】グレーザー米財務副次官補（テロ資金・金融犯罪担当）は二十六日にマカオを訪れ、北朝鮮の違法活動をめぐりマカオの金融機関バンコ・デルタ・アジア（BDA）で凍結されている北朝鮮資金の凍結解除に向け、金額当局などと詰めの協議をしました。

同当局関係者は「協議内容などについては何もコメントできない」としているが、グレーザー副次官補はマカオ側に対し、凍結口座解除をにらみ北朝鮮の違法活動に関する米側の調査結果を報告したとされます。

ロイター通信によると、米財務省報道スポークスマンは「BDA問題の解決に向けた協議を継続できる」と述べました。

公共事業省爆発
副大統領が軽傷

【バグダッド＝ロイター】公共事業省の爆発物処理班は二十五日、同省内にいたアブドルマハディ副大統領（イスラム教シーア派）を軽傷を負いました。

警察筋は警察官の誤射によるとしており、当日の爆発の原因はまだ明らかでは明らかではありません。

イラク大統領入院
「疲労と脱水症」

【バグダッド＝AFP時事】イラクの首都バグダッド中心部にある自治体事務所で二十六日に爆発があり、警察官および政府筋によると、六人が死亡、三十一人が負傷しました。武装集団のため自爆テロにいたアブドルマハディ副大統領（イスラム教シーア派）を軽傷を負いました。

警察筋は警察官の誤射によるとしており、当日の爆発の原因はまだ明らかではありません。

ベトナム 国会選挙
候補者が大幅増

【ハノイ＝鈴木勝彦】ベトナム国会選挙（定数五百議席）は二十五日投開票されました。ベトナム国会選挙（定数五百議席）にはホーチミン市で定数二十（議席）に四十六人以上の立候補者が予定されるなど定数を大幅に上回る立候補者が予定されています。政党推薦、各省が二十四日に開催した第十一回臨時国会選挙法案で、一回の選挙運動費を約一億ドン（約二十六万円）と規定されます。

ホーチミン市では定数二十六議席に対し、候補者名簿作成にあたる第一戦線委員会、ベトナム祖国戦線が推薦する候補者数だけでも四十六人となり、個人立候補者をあわせると定数の倍近くの立候補者が名乗り出ています。

ベトナム国会選挙は、祖国戦線が各団体との数次の協議を経て、候補者名簿を作成し、中央選挙管理委員会が投票日の二十日前の四月三十日までに推薦候補者名簿を発表します。

ベトナムの選挙権者は十八歳以上、被選挙権者は二十一歳以上です。

フランシコ

◆中国本土代表
観光保護法を初審議

【北京＝時事】新華社電によると、中国の第十期全国人民代表大会（全人代）常務委員会（第二十六回会議）が二十六日、北京で開かれ、観光保護法案が初めて審議されました。中国では農村からの出稼ぎ労働者の急増や、国有企業をリストラされた失業者の観光商業ビジネスによって、法整備によって観光メカニズムを構築する狙いがあります。

◆中国・ミャンマー
両国関係強化を確認

【北京＝時事】新華社電によると、ミャンマーを訪問中の中国の唐家璇国務委員は二十六日、新首都ネピドーで「全軍政権トップのタン・シュエ国家平和発展評議会議長と会談し、両国関係強化を確認しました。

◆中東の自爆
「2週間以内に公表」

【エルサレム＝時事】イスラエル放送によると、アッバス・パレスチナ自治政府議長は二十六日、ヨルダンの首都アンマンの病院に二十五日緊急入院したタラバニ大統領について、「極度の疲労と脱水症」と診断されたとの声明を出しました。容体は安定しており、生命に危険はないとしています。

声明によれば、タラバニ大統領はさらに検査を受けますが、完全な回復があり、会議に復帰し行っているといいます。

米副大統領
パキスタンに 掃討強化要求

【ニューデリー＝豊田栄光】チェイニー米副大統領は二十六日、事前発表なしにパキスタンを訪問し、ムシャラフ大統領と会談しました。副大統領は「対テロ戦争」でのパキスタンの役割に感謝を表明しつつも、アフガニスタン国境地帯タリバン武装勢力や国際テロ組織アルカイダがパキスタン領内に拠点を設けて活動しているとして、掃討作戦の強化を求めました。

ムシャラフ大統領は、「パキスタンは最善を尽くしており、努力はアフガンの問題で、その原因はパキスタンではなく、アフガン国内にある」と述べました。

副大統領はこの後、アフガニスタンに入りました。

エクアドル ベネズエラ
エネルギーで協力
重油・ディーゼル油交換
「南米の石油製品が北でなく南米へ行く」

【メキシコ市＝松島良佑】南米エクアドルの北東エスメラルダス（二十三日、国営ペトロエクアドル）は先月輸出したエネルギー統合の始まりとして注目されています。

報道によれば、エクアドルは自国の重油一・四万トンをベネズエラのディーゼル油と交換します。エクアドルは豊富な石油資源を有していますが、精製設備が不十分なため年二十五万トン分（約三千億円）の燃料を輸入しています。

ベネズエラからのディーゼル油は三月から二回に分けて到着する予定です。この三回の受け入れでエクアドルは輸入と比べ約二百万トンを節約できるといわれています。

式典にはベネズエラのラミレス・エネルギー相も出席し、「われわれは、中南米諸国の統合のためにエネルギーを効果的な道具として使っている」と述べました。

ベネズエラからのディーゼル油を積んだエクアドルのエスメラルダス港に到着したベネズエラのタンカー＝23日（ロイター）

コレア大統領は記念式典で、「中南米の歴史上初めて南米の船が石油製品を積んでパナマ運河を通過したが、行き先は北ではなく同じ南米だ」と指摘。地域諸国の「南南協力」としてのエネルギー交換の重要性を「中南米の新しい統合への道だ」と強調しました。

式典で、「中南米の歴史上初めて南米の船が石油製品を積んでパナマ運河を通過したが、行き先は北ではなく同じ南米だ」と指摘。地域諸国の「南南協力」としてのエネルギー交換の重要性を「中南米の新しい統合への道だ」と強調しました。

日本共産党の現代史を語る「下巻」刊行

日本共産党史を語る（下）

上巻に続き、日本共産党の現代史が開拓と苦闘の歴史として描かれる。ソ連や毛沢東派の干渉主義との闘争でいかに党をきたえ、知識を発展させてきたか。反共攻勢の四つの大波とたたかってきた「政治対決の弁証法」。独自の国際活動で日本と世界を結ぶ野党外交の全貌。「まるで映像を見るよう」と好評を博した著者自身のエピソードも縦横に語られる。

目次

第五講　三つの干渉主義との闘争
一、ソ連の干渉主義との闘争・・・共犯的な歴史
二、ソ連の干渉主義との闘争・ソ連解体文書から見た干渉の全貌
（一）ソ連の干渉の前の真相
（二）連続につぐ連続の攻撃
三、ベトナム侵略戦争・中国・毛沢東派の干渉攻撃
（一）国際的・国内条件の干渉主義との闘争
（二）中国・毛沢東派の干渉主義との闘争
四、ソ連の二つの軍事侵略・チェコスロバキアとアフガニスタン
五、この闘争のなかで発揮された党の国際的役割
【資料】ソ連共産党の干渉と闘争したある党の国際書簡／◆
千渉との闘争に関連したある党の国際書簡／◆

第六講　政治対決の弁証法（七〇年代以降）
一、一九七〇年代前半――日本共産党の躍進
二、共産党封じ込めの戦略の発動（第一の波）
三、反共攻勢のあいつぐ大波に抗して
（一）日本の政治の復帰が実わった
（二）第二の波――「体制選択論」攻撃
（三）第三の波――「赤旗」作戦
（四）第四の波――財界が仕掛けた「三反攻撃」キャンペーン
四、七〇年代以降の政治闘争をふりかえって
【資料】共産党第四回大会の全国委員会／財界の「政治献金」計画／◆

第七講　国際政策と野党外交
一、九〇年代前半までの平和外交
二、中国共産党との関係正常化
三、アジア・アフリカ・ラテンアメリカの全域で
四、野党外交について考える
覇権の結びに代えて

日本共産党史を語る（上）
定価1680円（税込）
ISBN978-4-406-03323-7

不破哲三〔著〕
〈A5判〉定価1680円（税込）
ISBN978-4-406-05029-6 C0031

新日本出版社　〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-6　電話03(3423)9402 FAX03(3423)8419(営業)　ロメールアドレス info@shinnihon-net.co.jp　ロホームページ www.shinnihon-net.co.jp　●表示価格は税込